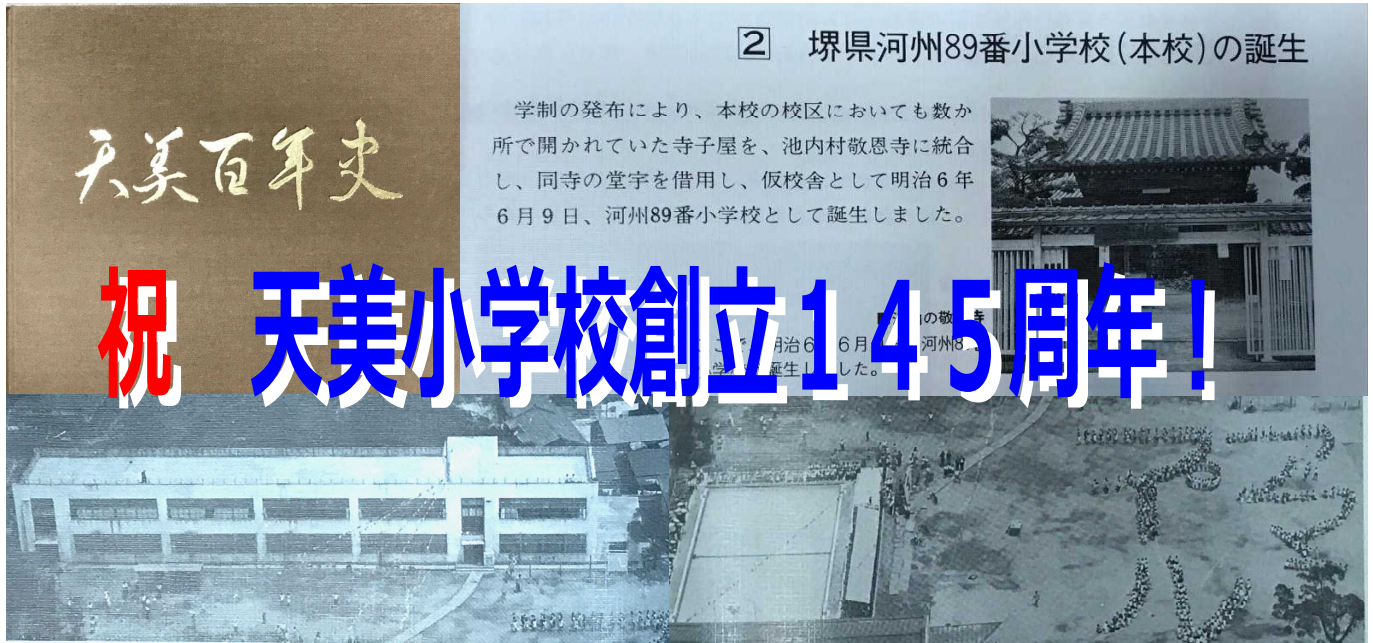


校長室だより

第6号

平成30年6月8日

MOTTAINAI (もったいない)



明日、6月9日で天美小学校は、創立145周年になります。

明治4年、明治政府は中央集権体制を固めるため、廃藩置県を行いました。明治14年、大阪府に編入されるまでは、本校のあたりを堺県丹北郡と呼んでいました。明治5年に発された学制に基づき、本校校区の数カ所で開かれていた寺子屋を、池内村敬恩寺に統合し、仮校舎として明治6年6月9日、河州89番小学校として誕生しました。(写真右上)

明治8年、所在地の村名をもって、池内小学校となり、明治22年の町村制の施行と校区の拡大により、明治25年天美尋常小学校と改称されました。その後、明治43年高等科を併置し、天美尋常高等小学校と名を改めました。さらに昭和16年、当時の軍国主義教育を反映し、国民学校令が公布され、天美国民学校と改称されました。

そして、戦後の昭和22年公布・施行された教育基本法により天美小学校という現在の名称になりました。

明治23年の資料によると、学校へ行くべき児童493人(男子252人、女子241人)に対して、実際に学校に通った児童は93人(男子73人、女子20人)で、就学率は18.8%という低いものでした。

明治41年に小学校6カ年が義務制になり、授業料国庫補助の政策が実施されてから就学率も高くなり、明治43年には、就学率が75%になりました。

天美百年史を読むと、河南地域で初めての鉄筋校舎ができたこと(写真左下)、PTAや地域の力で松原市内でいち早くプールができたこと(写真右下)、等の記述・写真もありました。PTA広報「もえぎ」は、草木の若い芽(萌木)にちなんで、大きく育つ子どもたちへの応援という意味があるようです。

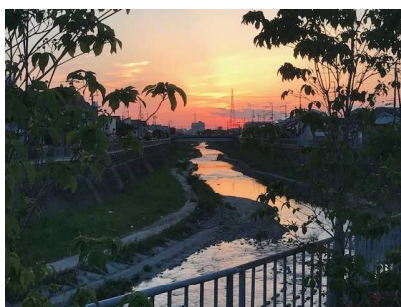
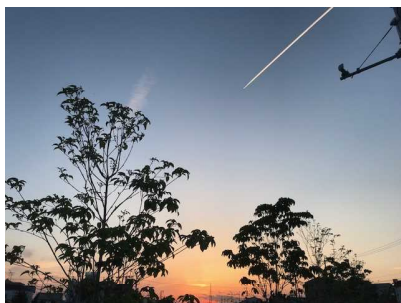
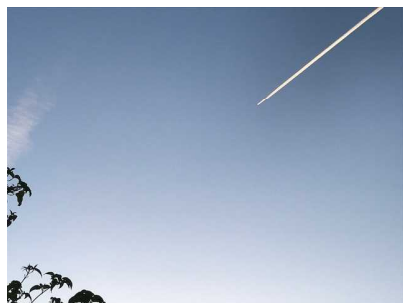
様々な時代の変化の中で名称も含めて変わってきた、長い歴史を知る天美小学校。今日の朝会で、145歳の創立を祝いました。ご家庭でも話題にしてください。(写真・文とも『天美百年史』を参考にしました。)

6月10日（日）日曜参観です！

明後日10日は日曜参観です。

子どもたちも教職員も、参観に向けて、日常の授業や図工の作品や合奏等に励んできました。

是非、参観では教室に入ってください、子どもたちの表情もよく見える“S席”も利用していただき、“サイレント授業参観”をお願いいたします。



梅雨の楽しみ・大阪の夕陽

写真は、高木橋近くの横断歩道のある場所。押しボタン信号を押して信号機を見上げると、時々、美しい空や夕陽に圧倒されることがあります。特に雨上がりの後は、空気も澄んでいて、一層きれいです。

私も、普段は、前と下ばかり見ていて、なかなか上を見上げることがありません。しかし、大阪の空もなかなか捨てたもんじゃありません。しかも、無料の天然色。

これから梅雨の雨は、うっとうしいですが、梅雨の晴れ間は、きれいな空・夕陽が見えそうです。大阪の空、夕陽、時には夜空も、梅雨の晴れ間の楽しみとしてください。



6月9日（土）アジアリサイクル活動です。9時半から11時まで、天美小学校校門前で、不要品を回収し、アジアの各地で再利用してもらい、若干の果実（利益）を、天美小学校の図書購入に充てていただいています。

家電製品は、使える物でも、電圧の関係でお受け出来ません。詳しくは、「もったいない第1号」をご覧ください。HPからも、配布文書一覧から、ご覧いただけます。雨天は中止です。

ご協力をお願いします。